

II 学校の経営



令和5年度 原市小学校 学校経営方針

1. 教育目標 「すすんで学ぶ 心ゆたかな たくましい子の育成」
めざす学校像 <楽しい学校>

2. 経営方針 ~~~信頼される学校づくりをめざして~~~

- (0) チーム原市で取組む協働体制と経営参画
- (1) 安全教育による学校安全・生活安全・危機管理
- (2) 知徳体
 - ① 授業改善と確かな学力の育成
 - ② 児童理解と信頼関係づくり
 - ③ 子供に生活力をつける健康教育
- (3) 保護者との支援方法の共有・連携（家庭学習・生活支援・教育支援）
- (4) 総合的な学習の時間の改善・充実
- (5) 施設・設備の保守管理・修繕
- (6) 学校運営協議会の展開
- (7) タブレットの効率的な活用

3. 具体目標

- | | |
|-------------|---|
| ☆心ゆたかな子（徳） | ・礼儀正しく、明るい子
・自分や友達を大切にできる子
・友達と力を合わせて活動できる子 |
| ☆すすんで学ぶ子（知） | ・見通しを持って粘り強く学習活動に取り組める子
・友だちとの協働により考えを広げ深められる子
・より深い知識理解と思いや考えを創造できる子 |
| ☆たくましい子（体） | ・事故やケガ、災害から自分や他人の身を守れる子
・自分の体力を高められる子
・健康になるための生活習慣や食習慣が身に付けられる子 |

◎健康で安全な中で学ぶことが楽しい学校・友たちとの生活が楽しい学校

3本の「かやの木」の見守り

真心の木---自立の心

友情の木---感謝の心

希望の木---挑戦の心

4. 具体的な取組

- (0) チーム原市で取組む協働体制と経営参画 ～教職員にとっても楽しい学校職場～
共通理解及び情報共有した上での校務分掌を活かした経営 [ペアで2つ]
担任が児童と向き合える時間を増やす協働体制 [教務スタッフのフォロー]
職員一人一人の良さを認め、良さを学びあう集団形成 [適材適所]
オンとオフを意識した年間総労働時間の削減 [長期休業中の OFF モード]

(1) 安全教育による学校安全・危機管理

- ① 発達段階に応じた朝や帰りの会での登下校時の安全指導・不審者対策指導
- ② 児童運営委員によるいじめ防止対策を生かしたいじめ防止のための常時指導
- ③ 医師の診断結果による保護者の同意を得た食物アレルギー対応
- ④ 自然災害等から身を守る発達段階や時季に応じた知識教育
- ⑤ 事前の注意喚起による運動時の事故防止・教師主導の強制的な熱中症対策
- ⑥ 合意的配慮に対する理解に基づく、その子に最も適した学習環境を整える支援
～困った子ではなく、困っている子としての対応～

(2) ① 授業改善と確かな学力の育成

- ・原小授業づくり8つのポイントによる考える授業
- ・生活・総合を核とする学びの実践
- ・OUTPUTできる表現力の育成
- ・評価や学力テストの実施・分析
- ・SDGsの17の目標との関連を意識しながらの授業展開
- ・教科担任制による魅力ある授業
- ・「はばたきタイム」の効果的な活用
- ・自主学習を推奨する家庭学習充実プランの実施

② 児童理解と信頼関係づくり

- ・魅力ある楽しい学校・学級づくり
- ・個々の障害理解と個に応じた配慮
- ・発達段階を認めての児童支援と家庭との連携
- ・人権教育推進による挨拶・返事・呼名・感謝の言葉の徹底
- ・児童主体の委員会・集会などの推進
- ・特定の児童に対する校内チーム支援と外部との連携

③ 子供に力をつける健康教育

- ・自身を守る安全な行動の指導・育成
- ・望ましい食習慣を身に付けるための取組
- ・体力向上プランの推進・改善
- ・道路での自転車走行や歩行の仕方
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底
- ・肥満児童の半減
- ・徒歩による登校と外遊びの奨励
- ・お金の使い方などの金銭教育

(3) 家庭・地域との連携

学校運営協議会の会議や活動の報告、おたよりやホームページ・メールなどによる情報発信
外部の人的・物的活用〈INPUT〉と発達段階に応じた学びの発表〈OUTPUT〉の活性化
学校経営のPDCA（評価実施と評価報告会の設定）、幼保小中との連携、
家庭学習・生活支援・教育支援などにおける家庭と学校との連携、
文化財（築瀬二子塚古墳・原市杉並木・中山道など）の理解と保存活用協力

(4) 総合的な学習の時間及び生活科の改善・充実

昨年度大幅改編した楽しく探究できる学習過程の継続

学んだことを OUTPUT できる場の設定

タブレットを活用したまとめとその発表過程における「Try & Error」を見守る教職員集団
児童にとって、学ぶ喜びや楽しさを感じられる学習への更なる改善

開かれた学校となるための外部講師等の招聘

(5) 施設・設備の保守管理・修繕

学校施設・設備の保守管理、安全点検（4月、6月、9月、11月、1月、3月）。

必要な修繕の迅速かつ効率的な実行

給食室新築工事に伴う諸対応と体育館屋根修繕に伴う諸対応

(6) 学校運営協議会の展開

コミュニティスクールとしての教職員および運営協議会委員の意識改革

二子塚古墳やスマイルパーク、公民館等の地域施設の積極的な活用

学校 PTA や原市子育連の現状を踏まえての学校教育への参加を模索

(7) タブレットの効率的な活用

情報主任を中心とした研修実施

授業におけるツールとしてのタブレットや電子黒板の効率的な活用の検証と更なる模索

⇒ 市研究所「研究紀要第 58 集」の活用

学年発達段階に応じたタブレット持ち帰りとその活用